



# 冬の鉄門イベント



平成26年1月19日(日)開催



冬の鉄門では、恒例の櫓からの石落とし（今回は的あてver.）のほか、おめでたい的ねらう弓矢体験、紋切り遊びで折り紙を切り抜きしおりを作ったりしました。また、江戸時代に量産されるようになった米菓のひとつ、もちあられの試食などを行ないました。



鉄門は2階建ての櫓門（やぐらもん）という形式で、1階が門、2階が櫓（やぐら：武器などを納めたり、敵を見張ったりする施設）になっています。



冷え込んだ真っ青な空のもと、イベントを開催しました！



弓を引いて…  
うまく的に矢が当たるかな？



弓矢体験は子どもたちに大人気です。  
夢中で“まと”をねらいます。



今回ねらう“まと”は「扇」「金」「銀」。  
当たったらいいことありそうですね！



鉄門の櫓内の石落としの窓は、イベント時のみ開きます。ここから石を落とすよ！



今回ねらうのは「シャチ瓦」「輪宝」「寛永通宝」いずれも甲府城跡から見つかった出土品です。



石落としの窓から、下に見える“まと”をねらって石を落とすと… うまく当たるかな？



今回のものづくり体験は「紋切り」。折り紙を折って、型紙をあてて切り、それを開くと… あら不思議、きれいな文様に… 江戸時代にもあった遊びです！



にっこり笑ったような梅の文様ができました！他にも、双瓢・六ッ鱗も切ってみたよ！



遊び疲れたら「もちあられ」をどうぞ。江戸時代に大量生産されるようになった米菓のひとつなんです。

寒い中、多くのおみなさんに来ていただきありがとうございました。また4月の信玄公祭の時にも、鉄門周辺でイベントを開催する予定ですので、是非、足をお運びください！